

厚生常任委員会活動レポート

開催日：令和5年1月19日(木)

開催場所：1・2号委員会室

中標津町全町内会連合会との懇談会

当日は中標津町全町内会連合会の会長・副会長5名・理事1名の7名に出席いただきました。連合会の概要説明（現状・課題）や町内会加入率向上の取り組みについて説明を受け、加入率低下の課題である回覧板や会費等集金時の負担を改善するためにデジタル化の導入検討や、防災組織、学校との連携方法、全町内会連合会の権限、ごみステーション、要支援者台帳と地域支援員の問題、自治基本条例改正などについて意見交換しました。

なお、町内会加入率向上の取り組みについては、令和4年12月に町内会員証が作成され、「町内会員割引制度」をスタートさせました。現在29社の協賛を受け今後も協賛店拡充を予定していて、引き続き周知を図っていくとのことでした。

また、今年建設予定となっている合葬墓について、全町連だよりに掲載し周知していただきました。

町立病院

1. 町立病院の管理運営について

令和4年度月別患者数、診療収入の状況について（11月末現在）

外来患者数・入院患者数・外来診療収入・入院診療収入ともに前年同期、予算を上回る状況となっていました。

なお、来年度の4月から北大の耳鼻科より常勤の先生を派遣していただけることになり、手術も可能となるため入院患者数の増加も見込まれます。

【主な質疑】

委員：精神科医の人員不足問題の当町への影響は？

担当：今後影響してくることが予想されます。現在2名の診療体制ですが、鈴木医師が2月で診療を終了し、4月に退職されます。杉村医師の1名体制となるため、新規患者の受け入れを停止していますが、3月より月・火・水は午前診療、木は新規患者を1日3名程度で診療を開始する予定です。根室・釧路地域で精神科が閉鎖になってきている状況があるため、当院では診療継続のため協議を重ねています。

委員：出産のため入院中に、出産後の御祝御膳はありますか？

担当：実施しています。また、給食委託先の栄養士が折り紙の作品を贈ってくれるなど

の心配りもしています。

委員：LINEを使用した患者への案内等は、いつ頃から実施されますか？

担当：電子カルテの更新終了後、作業に着手したいと思っています。

委員：機器の故障により待ち時間が増えていた内視鏡検査の現状は？

担当：通常の検査体制に戻っています。

町民生活部

1. 新型コロナウイルスへの対応について

【新型コロナワクチンの接種状況について】

以下のとおり説明を受けました。

(1) 接種状況

- ・オミクロン株対応ワクチン 接種率 55.80% (接種対象者 22,729 人)
- ・5歳～11歳小児ワクチン 3回目接種率 24.10% (接種対象者 1,346 人)
- ・0歳～4歳小児ワクチン 2回目接種率 6.20% (接種対象者 795 人)

(2) 今後の接種予定

- ・オミクロン株対応ワクチン 10/26～1/12 (終了) 予約者数 12,212 人
- ・従来対応ワクチン (12歳以上用、小児用、乳幼児用) 2/18 (土)・3/11 (土)

2. 住民生活・環境衛生事業について

【地域公共交通に係る各協議会の進捗状況について】

(1) 中標津町地域公共交通活性化協議会

法律の改正により、今後も町有バス路線に国の補助を活用し続けるためにも、「中標津町地域公共交通計画」を策定することになり、策定に向けた整理を行うため中標津町地域公共交通活性化協議会を設置、開催状況、今後のスケジュールやアンケート調査・乗降調査について報告を受けました。

(2) 標津線代替輸送連絡調整協議会

JR標津線が廃止となり、国のバス転換交付金を活用するべく1市4町で協議会が設立されており、標津標茶線、中標津線の2路線の見直しをするため約30年ぶりに協議会が開催されました。

① JR標津線代替バス路線の在り方について

利用実態調査の結果から標津標茶線のうち標津～西春別間を令和5年10月からダイヤをスケールダウン、西春別～標茶間を令和7年3月に廃止、中標津線のうち中標津～別海間を令和5年10月から中標津空港線と重複しない運行に再編、別海～厚床間を令和5年9月に廃止という再編方針について説明を受けました。

② 協議会の今後について

現協議会の発展的解散、車両関係の整理、路線の負担について新協議会にて協議を進めていきます。

【主な質疑】

委員：交通会議と交通活性化協議会の違いは？

担当：交通会議委員に道路管理者・警察・運輸局など多くの団体が新たに追加されています。

委員：基金残高（バス転換交付金）がなくなり、町の負担が増えることにならないか？

担当：基金は底をつきますが、今後、負担が増えないよう路線の再編を検討します。

委員：高齢者の負担軽減のため路線分割やタクシー券の受益者負担も考えては？

担当：タクシー会社も運転手不足の問題があります。3月までに大きな方針を掲げ運行開始できればと考えています。試験運行を繰り返しながら進めていきたい。

委員：農高通学生のため、計根別への追加運行の検討は？

担当：朝の行きの便は2便体制で、生徒数に充分対応できる席数となっています。乗れないのではなく、乗れない要因があると思われます。帰りの便は、学校行事等で一斉下校になると1便しかないため対応できていません。臨時運行の依頼を含めて検討し対応していきます。

委員：増便等について大型車両導入のメリットはなく、便数増は運転手が確保できないと阿寒バスから聞いています。また、自動運転車両の導入について、当委員会では視察を検討していますが、計画に自動運転の記載は想定していますか？

担当：計画には自動運転導入についての記載はありません。

委員：今後、どのような方法がいいのか当委員会も一緒に考えていきます。

担当：住民の方たちにもある程度我慢してもらわざるを得ないことが出るだろうと思いますが、住民の方、団体の方からの意見も取り入れ計画策定を進めていきたいと思っています。